

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年6月27日

山梨県知事 殿

提出者

住 所 神奈川県 川崎市中原区中丸子174

氏 名 株式会社 平山 ファインテクノ

代表取締役 平山 光裕

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 044-422-5571

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 平山ファインテクノ 山梨工場
事業場の所在地	山梨市 上石森 1500番地
計画期間	令和 5年4月1日～令和 6年3月31日の1年間

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	製品出荷額 3,991百万円/年
③従業員数	63名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃アルカリ → 処理業者へ委託(中和・脱水) → 再資源化 廃酸 → 処理業者へ委託(中和・脱水) → 再資源化 廃油 → 処理業者へ委託(混合エマルジョン化) → 再資源化

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙-5による

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙-2による	
	排 出 量	別紙-2による	t
	(これまでに実施した取組) ①品質向上による特別管理産業廃棄物の削減 ・品質向上方策計画の活動の推進		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙-3による	
	排 出 量	別紙-3による	t
	(今後実施する予定の取組) ① 現在実施している品質改善活動の継続による廃棄物の削減		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① 分別している特別管理産業廃棄物の種類 ・別紙-4による ②分別に関する取組 ・分別に関する啓蒙活動及び机上教育の実施
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①現在実施している分別に関する取り組みの継続実施

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特になし	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】 特になし		
	特別管理産業廃棄物の種類	特になし	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特になし	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】 特になし		
	特別管理産業廃棄物の種類	特になし	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特になし	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】特になし		
	特別管理産業廃棄物の種類	特になし	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙-2による	
	全処理委託量	別紙-2による	t
	別紙-2による	別紙-2による	t
	別紙-2による	別紙-2による	t
	別紙-2による	別紙-2による	t
	別紙-2による	別紙-2による	t
	(これまでに実施した取組) ① 産業廃棄物業者への適正処理に対する確認を行っている。 ② 特別産業廃棄物の排出量の削減を心掛ける。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり	
	全処理委託量	別紙-3のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-3のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙-3のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙-3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙-3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
	① 現在の取り組みの継続実施		
※事務処理欄			

(第6面)

(任意) 事業系一般廃棄物に関する事項

自ら行う事業系一般廃棄物の処理施設への搬入に関する事項							
① 現 状	【前年度（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組)						
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画)						
許可業者への処理の委託に関する事項							
① 現 状	【前年度（ 令和4年度）実績】						
	一般廃棄物の種類	可燃ゴミ	ダンボール				
	排 出 量	2620kg	2600kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組) ① 分別に関する啓蒙活動及び机上教育の実施						
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類	可燃ゴミ	ダンボール				
	排 出 量	2900kg	2200kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画) ① 紙類の有価物化						

(第7面)

備考

(第1面)～(第5面)について(法で定める事項)

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第6面)について(事業系一般廃棄物に関する事項で記入は任意です)

- ・事業系一般廃棄物に関し減量の取組を行っている、又は今後取組む方は記入をお願いします。
- ・一般廃棄物の種類については、「紙」、「びん」、「缶」等で分別している場合は、その区分の記載をお願いします。細かく分別していない場合は、「可燃物」、「不燃物」等の記載をお願いします。
- ・同封しました「トライ産廃スリム」の対象として、事業系一般廃棄物も含まれます。

産業廃棄物処理計画実施状況(令和4年度)

2. 特別管理産業廃棄物 (単位 : kg)

種類	廃アルカリ (インク剥離液)	廃酸 (ソフエッチング)	廃油 (塗料シンナー)	合計
排出量	1,904,982	67,270	5,295	1,977,547
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0
再生利用者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0
全処理委託量	1,904,982	67,270	5,295	1,977,547

2. 特別管理産業廃棄物 (単位: kg)

種 類	廃アルカリ (インク剥離液)	廃酸 (フアエッチング)	廃油 (塗料シンナー)	合計
排出量	1,814,269	64,067	5,043	1,883,379
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0
全処理委託量	1,814,269	64,067	5,043	1,883,379

産業廃棄物の分別方法

産業廃棄物区分	産業廃棄物の種類	保管場所	保管容器
特別管理産業廃棄物	廃アルカリ（インク剥離液）	屋外タンク	20 t タンク
	廃酸（ソフトエッチング）	屋外タンク	5 t タンク
	廃油（塗料シンナー）	危険物保管庫	ドラム缶

産業廃棄物の処理に関する管理組織

